

起業家として 成功する女性 アスリートたち

#WomenFastForward



Contents

はじめに	
フィールドから創業者へ	2
フィールドからのヒント	
起業家の成功を支えるスポーツスキル	3
スポーツのバックグラウンドを持たない女性創業者が	
アスリートから学ぶべきこと	7
おわりに	9
謝辞	10

EY Women. Fast forward

ジェンダーパリティ(男女間の社会的不平等の解消)の達成を加速させることは、EYとビジネス全体にとって経済上の急務です。女性が職場でジェンダーパリティを達成するためには170年かかるとの予測がありますが、そんなに待ってはいられません。ジェンダーパリティ達成を加速するために、EYはWomen. Fast forwardを創設しました。これは男性と女性双方に自発的な行動を促し、女性を男性と同じ比率で採用し、彼女たちが職場に貢献する無限の可能性にふさわしい待遇ができるように設計されたグローバルアクセラレーターです。私たちは一緒に将来世代の女性のために、永続的な成長の遺産、豊かな繁栄とより強いコミュニティを世界に築く機会を見直すことができます。ey.com/womenfastforward

EY Entrepreneurial Winning Women™

46カ国にわたるEY Entrepreneurial Winning Women™は、ビジネスを拡大する可能性が高い女性起業家を特定し、成長を加速させる継続的な経営者教育プログラムを提供しています。2017年で10年目を迎えるこのプログラムは、幅広い業界で事業に精通した優秀な中小企業を育てながら、規模の拡大に不可欠なツールをまだ見出ししていない女性創業者を対象としています。EYは創業者に幅広い資源、豊かなネットワークとノウハウを常に提供し、市場リーダーとして必要な能力を強化しながら、ロールモデルとなる女性起業家の成功と世界的な活躍の場を創出します。ey.com/winningwomen

EY Women Athletes Business Network

優れた女性アスリートはまだ発揮されていないビジネスリーダーシップの能力を持っていることが多いと、私たちは考えています。彼女たちは本来、世界中の企業、政府、非政府組織にとって有意義な成果を挙げる人々であり、影響力のある指導者、チーム選手です。しかし、スポーツ選手から競技後の成功を目指すのは簡単なことではないかもしれません。そこでEYはey.com/womenathletesnetworkを創設しました。

espnW

espnWは、スポーツを通して女性にかかわり、勇気づけることを目指しています。私たちのコンテンツホームであるespnW.comは、女性アスリートとその競技へのアクセスを総合的に提供し、大きな大会でファンを獲得したり、スポーツライフスタイルにおける最大のトレンドを伝えていきます。espnWはまた、女性にとってスポーツストーリーの最も重要でユニークな視点を提供することで、スポーツと文化の交流にも光を当てています。2010年7月に設立されたespnWのコンテンツと音声は、デジタル、テレビ、ラジオ、映画、イベント、教育プラットフォーム、ソーシャルメディアを通じて報じられています。espnW年次総会である「女性 + スポーツサミット」は、トップアスリートと業界のリーダーを集め、女性やスポーツに関する有意義な対話の場を提供します。www.espnW.com



はじめに

フィールドから創業者へ

アリアナ・ハフントンやウェイリ・ダイ、オブラ・ウィンフリー、ダイアン・フォン・ファステンバーグなど、女性起業家の大成功にもかかわらず、女性は男性よりも潜在能力を十分に発揮できていません。注目すべきことに、米国で女性が創業した企業で、収益が100万米ドル以上に達しているのは、わずか2%にすぎません¹。

ジェンダーパリティの達成に限らず、女性は企業の規模を拡大する上で多くの不利な状況に直面しています。その原因は、少ないロールモデル、経験豊富なアドバイザーに相談する機会が少ないこと、創業のための自己資金不足などがあります。こうした障害は残っていますが、女性創業者は、確かな考え方や戦略を採用することがその成功にどのように役立つかを学ぶことも必要です。

私たちは、スポーツや最高レベルの競技者から重要な行動を学ぶことがその役に立つかどうかを探るため、調査を行いました。

スポーツ経験は、女性がガラスの天井を壊して企業の経営陣に加わるために有効であることが分かっています。女性の上級役員についてのグローバルEYおよびespnW調査²では、その94%がスポーツ経験者であり、52%が大学スポーツの選手でした。そして、4分の3(74%)は、スポーツ経験が女性のキャリア形成に有効であると答えています。

さらに、スポーツにおける女性の成功は、社会的なインパクトをもたらし、ジェンダーに基づいた偏見を覆して、若い世代へのロールモデルを確立します。「スポーツは世界の共通語です」と、大学時代にフィールドホッケー選手であったespnWのシニアバイスプレジデント、ローラ・ジェンタイル氏は述べています。「女性がプレーし競い合い、成功すればするほどコミュニケーションが変わってきます」

スポーツにはリスクの大きな起業家の世界で女性に役立つ何かがあるのでしょ

五つの成功要因

こうした質問に答えるために、私たちは世界各地の女性起業家に詳細なインタビューを行いました。彼女たちは全員現役のスポーツ選手あるいはかつての選手であり、世界中のさまざまな業界で働いています。

22人の起業家とのディスカッションから、アスリートとしての成長をもたらした五つの成功戦略が特定できました。それらが企業を立ち上げ発展させる強みとなったのです。

- ▶ **自信** —— 難局にあっても自分の能力を信じること
- ▶ **ひたむきさ** —— 困難に立ち向かう何事にも動じない集中力
- ▶ **情熱** —— すべてに成功するための決意
- ▶ **リーダーシップ** —— 気持ちを同じくするチームを導き、鼓舞する能力
- ▶ **立ち直る力(レジリエンス)** —— 失敗を「フィードバック」として捉え、それによって自らを強くする能力

このレポートでは、以上の特性をそれぞれ探求し、女性が自らの企業を立ち上げ、育て成長させるための行動に、どのように役立てることができるかを提案します。

1: http://www.womenable.com/content/userfiles/Growing_Under_the_Radar_Jan2013.pdf

2: [http://www.ey.com/Publication/vwLUAssets/EY-where-will-you-find-your-next-leader/\\$FILE/where-will-you-find-your-next-leader-report-from-EY-and-espnw.pdf](http://www.ey.com/Publication/vwLUAssets/EY-where-will-you-find-your-next-leader/$FILE/where-will-you-find-your-next-leader-report-from-EY-and-espnw.pdf)

「勝利の感動は他に 比べようありません」

セゼン・スングル・サラル氏は、元プロバレーボール選手であり元トルコ代表スキー選手です。2010年には、Reederアプリのタブレットとスマートフォンを製造、販売するコンシューマーエレクトロニクス企業Selekt Bilgisayarを設立しました。トルコのタブレット市場でReederは20%のシェアを持ち、2位にランクされています。そのスマートフォンは、販売されている上位25機種の一つです。

「女性アスリートが自分のビジネスを始めたいと思ったら、そうすべきです。すでに必要な多くのスキルを持っているのですから」と、サラル氏は語ります。「スポーツのバックグラウンドがあることで、レジリエンスと積極性が備わり、ビジネスでの挫折を受け入れ対応することができるようになったと私は信じています。恐れず、決してあきらめないでください。それが私の女性起業家に伝えたいことです」



フィールドからのヒント

起業家の成功を支える スポーツスキル

起業家になることは決して簡単ではありません。創業者の道は挑戦に満ちているだけでなく、非常に孤独なこともあります。同じような野心を分かち合う多くのロールモデルに接することができないのはとてもつらいことです。女性は若いころから、人を導くことを男性の仲間と同じようには求められていないと気づかされることが多く、自分の能力についての他人の先入観を覆すために倍の労力が必要と感じるものです。

女性創業者がこれらのハードルをクリアし企業を立ち上げ、忍耐強くそして時間をかけてその価値を最大限に引き上げるために必要な考え方と強さを養う上で、スポーツはどのように役立つでしょうか？

今回のディスカッションでは、22名の起業家がアスリートとして培ってきた五つの成功特性を明らかにしています。それらはビジネスを運営、拡大するために大きな優位性を彼女たちにもたらしています。

1 自信: 成功をもたらす最大の力

私たちが話したほとんどのアスリート起業家は、自信と信念の重要性を強調しています。この二つは、起業家になるためのチケットであり、スポーツは女性が多ければそれらを手に入れる最善の方法です。クレア・シップマンとカティ・ケイがベストセラー、*The Confidence Code*に書いたように、自信を持つには意識の変化が必要です。人々に気に入られることや完璧であることを求めなければ、行動を起こしリスクをとることができ、早く失敗に気づくことができます。

2016年にノバスコシアで教育ゲーム会社Squiggle Parkを共同設立したスプリントカマーの元五輪選手ジュリア・リヴァード氏は言います。「それができると自信を持たなければなりません。それができるかどうか分からなくてもです」

「起業家であるためには、大きな自信が必要です。自信は成功をもたらす最大の力です」と、彼女は続けます。リヴァード氏は、自信があれば重大な失敗を十分補うこともできると述べます。「リーダーというポジションにふさわしくない人々を見かけることがありますが、彼らの成功は彼らがやり遂げられると信じて疑わないという自信に裏付けられているのです」

イメージをつくり上げる

自信はただの心の内面状態ではありません。自信が表に現れることでクライアントや投資家、同僚の、私たちを見る目を変えることができます。

女性スポーツ財団によると、「成功した選手は自信にあふれたイメージを実践することに長けています³⁾」情熱的な社内チームを構築し、信頼できる顧客と自尊心の高いスポンサーの関心を引く必要がある起業家にとって、自信にあふれたイメージは事業を拡大する必須の成功要因です。

私たちが話を聞いた女性アスリートたちは、自信にあふれた態度を身に付ける能力が、起業家としての彼女たちの存在と重みに貢献しているということと意見が一致しています。「スポーツをする女性かどうか、見ただけで分かることがよくあります」と、元プロバスケットボール選手であり現在はGlobal Athlete Media Networkの代表を務めるミズーリのアンジェラ・レイス氏は述べています。「自信をまもって歩けるようになること。それこそがリーダーになるために必要なことです」

2 ひたむきさ: 障害をモチベーションに変える

プロジェクトを完成まで見通し、自分とともに他の人をリードしていくことを可能にする、何事にも動じない集中力を持つことは起業家にとって不可欠です。

スウェーデン代表のサッカーチームでプレーし、現在はレースアプリRaceONEのCEOであるマーリーン・ショーベリ氏は集中力の重要性を認めています。「何かをしたいなら、そして成功したいなら、100%身を捧げる必要があります」と、彼女は言います。「そばで見ているだけでは成し遂げることはできません。実際に集中する必要があります」

元大学バスケットボール選手であり、サンフランシスコを拠点とする自然健康会社Garden Societyの創業者であるエリン・ゴア氏は、集中力があれば起業家に不安を与えるさまざまな影響に対しても平静を保てると考えています。「日々の勝利と敗北にいちいちとれられることはありません」と彼女は説明します。「ジェットコースターに乗っているとしても、行き着く先はまだ分かっています。バスケットボールはプレッシャーがあっても集中し続ける方法を教えてくれました。ゲームの勝利を左右するシュートを打つことぐらい大きなプレッシャーはありませんから」

後に引かないこと

アスリート起業家の多くは、スポーツでこの集中力と不屈の精神を養ったと言います。ロシア人の元世界チャンピオンでオリンピック選手、現在は自身のイベント会社PROyachtingを運営するエカテリーナ・スクディナ氏は語ります。「ヨットで航海するときは、セーリングのチューニングやコースの変更を決定する必要があります。外部のプレッシャーに対しても現状を維持できると分かっていたら、ビジネスでも重大な意思決定ができます」

私たちが話を聞いた女性アスリートは、精神的な集中力によって、恐怖や怒りなどの困難な感情を障害からモチベーションに変えることができるとも述べています。「多少の恐れを抱きながらアドレナリンが湧いている、飛び込み台に立っている、そんな瞬間が大好きでした」と、元オリンピック選手であり、テレビ番組制作会社のBlackline Mediaの共同創業者であるサマー・サンダース氏は言います。「新しいことに取り組むときの恐れや高揚感から多くの人は逃げるけれど、私はそれに立ち向かっているのです」



3: <https://www.womenssportsfoundation.org/advocate/foundation-positions/mental-physical-health/benefits-sports-participation-girls-women/>

情熱と決意: 胸に燃える炎

アスリート起業家の決意、そしてそのスポーツや企業に対する情熱は輝いています。

マーリーン・ショーベリ氏はともに働く人々について情熱的に強調していますが、これはチームとしての成功を求められる元サッカー選手として当然かもしれません。「あなたの会社の誰もがあなたと同じ情熱を持てるようにしなければなりません」と、彼女は言います。「従業員にとって、ただの仕事にしまっ

常に熱意を持って

起業家が成功を追求する原動力の一つは、勝利を求めるという胸に燃える競争心です。元アスリートにとって、これはスポーツで養った資質ですが、ビジネスでは非常に貴重なものです。

高性能寝具ブランドSHEEXの共同創業者であるフロリダのミッチェル・ブルック・マーシニアック氏は、次善に甘んじることができないという自身のプロバスケットボール選手としての資質に自信を持っています。「自分としては、私は完璧主義者だと思っています。細部にこだわり手抜きはしませんでした」と、彼女は述べます。「私はジムを出る前に、いつも20回フィルムを巻き戻し、ダッシュをしながらコート各ラインに触れ、もう1回シュートをしていました。強迫観念なのかは分かりませんが、私にとってそれが原動力でした」

Shoot for the moon(最高を目指す): 役員会へのコーチング導入

ビジネスの世界における「コーチ」の役割は、通常、新興企業の顧問や急成長企業の取締役会によって担われています。EY白書、Shoot for the moonでは、次のように説明しています。「役員会の人事を決める場合、通常すでに知っている人ではなく、必要な人材から選びたいと考え、イエスマンは望まないでしょう。むしろ、既成事実にも建設的な疑問を呈し、緻密で理論的に考え、新しいアイデアを提案してくれるような人物を探すはずで

[http://www.ey.com/Publication/vwLUAssets/EY-PDF_With_the_right_board_the_skys_no_limit./\\$FILE/EY-PDF-Shoot-for-the-moon.pdf](http://www.ey.com/Publication/vwLUAssets/EY-PDF_With_the_right_board_the_skys_no_limit./$FILE/EY-PDF-Shoot-for-the-moon.pdf)



4 リーダーシップ: 適材適所のプレイヤーとポジション

アスリート起業家は、スポーツは実践的なレベルと感情的なレベルの両方で、チームであることの意味に揺るぎない拠り所を与えてくれたと語ります。そして彼女たちは、そのスポーツの考え方によって、企業の成長に必要なハイパフォーマンスチームを構築しています。

「ビジネスでチームを築く際には、さまざまな役割の関係について、バスケットボールの場合をいつも参考にすることができます」と、アンジェラ・ルイス氏は述べています。「この役割には何が必要か? 私たちは何を達成しようとしているのか? そして、それを実現するために、各役割はなぜ不可欠なのか? このような疑問を抱く糸口になります」

ニュージャージーに本拠を置く映画制作会社Lookalike Productionsを共同設立した元大学ラグビー選手のリサ・ラックス氏も同じ意見です。「チームとして働けることが最も重要です。私たちはコラボレーションとチームワークというすべてスポーツで培った理念を、手掛けるすべてのビジネスプロジェクトにも応用できました」

アドバイスを吸収する

アスリート起業家の多くは、スポーツは偉大なコーチから学ぶことの価値を教えてくれたと述べるとともに、新しい視点や戦略的プレーを提示し、レジリエンスを強化してくれるアドバイザーを探すように勧めています。ジュリア・リヴァード氏は、「自分に圧力をかけてくれるようなビジネスコーチを見つけたとき、大きな改善が見られました」と、言います。

ビジネスを成長させるためにコーチングとメンタリングの力を活用しているエリン・ゴア氏も言います。「私はすべてのメンターと少なくとも月1回は連絡を取るようになっています。つまり、週に1回はメンターの誰かと話しているということです。私のメンターはブランド構築や財務のようなそれぞれの強みを持ち、ビジネスのさまざまな面で助けてくれます」



5 立ち直る力(レジリエンス): 失敗はまさにフィードバック

失敗を処理して戦いに復帰できることは、起業家にとって不可欠なスキルです。「選手はスポーツをしない人たちと異なる視点で失敗を見ています」と、サマー・サンダース氏は説明します。「私たちにとっては、失敗は改善プロセスにおける学習ステップの一つにすぎません」

今日の起業家は、シリコンバレーの新規事業カルチャーにならい、“failing fast(早く失敗する)”という考えに慣れることが期待されています。別の方向に向かう前に、スポーツと同じように失敗からすぐに立ち直る必要があるからです。

ミッチェル・ブルック・マーシニアック氏は、「スポーツ経験は勝敗に対処するために役立ちます」と、解説します。「勝利よりも敗北からより多くのことを学ぶということ、そしてより大きな困難こそ昨日よりも良くなるためのフィードバックとなることを理解できるのです」。そのフィードバックはビジネスにおいて非常に貴重な教訓となります。ある日は何の努力をしなくても物事がうまくいき、すべてが楽に感じられます。そして、別の日は、世界が敵対しているかのように感じられ本当にイライラします。しかし最後までなんとか踏みとどまることが大事なのです。

はね返す力

女性アスリートの多くは、若いころに競技スポーツを経験することで立ち直る力をつけることができ、経営上の困難に対してこの資質が彼女たちを支えてくれると述べています。Compumatica Secure NetworksのCEOであり元オランダ代表カヌー選手であるペトラ・ファン・シャイク氏は、「スポーツ経験は、困難に直面したとき、それを克服して次のレベルに到達するのにプラスとなります」と語ります。「スポーツでは多くの浮き沈みに直面します。それはビジネスでも同じです」

ジュリア・リヴァード氏も、失敗に対処しそこから学べるのが、起業家にとって重要な資質となることを認めています。「起業家の成功要因の一つは、感情をコントロールできるということです。これは非常に難しいことですが、大きなメリットになります。それによってどれほどのものが得られるか分からないくらいです」

「レジリエンスとは、起業家自らのよって立つ礎となるタフさといえます」と、ローラ・ジェンタイル氏は語ります。「長い間男子選手と一緒に練習しながら、私は彼らに引けを取ることはありませんでした」と、彼女は言います。「私はまさにタフさをもってこの世界に入ってきました。それを鍛えたことにより、これから進んでいくための力を身につけることができました。」



スポーツのバックグラウンドを持たない女性創業者がアスリートから学ぶべきこと

私たちの調査によれば、スポーツ経験は、女性起業家が偉大な創業者としてあまり取り上げられていない世界で、若い女性が新興企業を立ち上げ拡大するために必要な能力の養成に貢献します。

アスリートではない人々は、どうすれば成功を実現できるのでしょうか？私たちは、女性起業家が創業した企業を成長させるため、限界を超える五つの方法を特定しました。

1 情熱を持って取り組む

障害や挫折は避けられません。こうした浮き沈みから生き残るためには、販売する製品やサービスについて情熱を傾け、モチベーションとなるような将来ビジョンを持つ必要があります。

マサチューセッツの元プロサッカー選手であり、Soccer Without Bordersの共同創設者兼エグゼクティブディレクターであるメリー・マクベイ氏は、「本当にやりたいと思って、ビジネスに当たらなければいけません。情熱を持てる、そして世界が必要とする製品やサービスを持つことが重要です。私は自分のビジネスを始める高揚感だけではだめだと言っています。道は長く、仕事は難しく、その高揚感は次第に消えてしまいます。ビジネスを開始することは、あなたが世界にどのような貢献をしたいのか、それをどのように実現するのかということです」

映画制作会社Lookalike Productionsを共同設立した元ラクロス選手のナンシー・スターン・ウィンターズ氏も同意見です。「非常に情熱を感じるプロジェクトに取り組むようにしています。それは大きなモチベーションになります。興味を持っているだけでなく、重要だと思える人々やトピックについての映画を作っていますが、それは人生に影響を与えるものです」

2 明確な目標を設定する

アスリート起業家の90%以上が毎日の目標を設定し、志に向かって努力し続けています。その多くは、年間目標から始め、四半期、毎月、そして毎日の目標へと段階的に落とし込むやり方を取り入れています。

「目標を設定することでチーム全体の自主性が高まります」と、エリン・ゴア氏は説明します。「誰もが自分たちが目指していることを知り、自分の仕事が最終目標にどのように貢献しているかを理解しています。集中力を発揮できるだけでなく、これにより、私たちが目標を達成したとき、ともに勝利を祝福することができます」

同時に、どこを目指していくのかという明確なビジョンによって、ビジネスが推進されることが重要です。「目指す方向はすべて私の頭の中にあります」と、元プロバレエダンサーでHigh Performance Coachingの創業者であるオーストラリアのルイズ・ワッツ氏は語ります。「私の最強のスキルの一つは、皆が進むべき方向性を明確に持っていることだと、私のチームは言います。私は目標を設定しますが、それはどこにいくべきか、そして何をすべきかということを経験できる感覚のたまものです」

3 優先順位を決める

多くの起業家は、アスリートの厳しい練習スケジュールは、タスクの優先順位付け(価値を生むタスクと後に回してよいタスク)の特定と効率的な時間管理によって、非常に効果的であることを認めています。

「私が大切だと考える、サッカーと勉強を両立させる能力は、スポーツから私が得た最大の収穫の一つです」と、メアリー・マクベイ氏は言います。「その能力によって、毎日最善の時間の使い方をしているかどうかを判断できます」

自身の名前を冠した水着ブランドを創業した元オリンピック水泳選手であるブラジルのファビオラ・モリーナ氏は、優先順位を決めることだけでなく準備することの大切さもスポーツから学びました。「選手が頻繁に練習する理由は、試合に臨むときの準備が整っていないと分かっていてからです。ビジネスでも同じです。周到に準備できていれば、ビジネスはスムーズに進み、成功する可能性は高くなります」

4 アドバイスを求める

起業家のほぼ半数(45%)は、業界外の専門家から少なくとも週に1回はアドバイスを求めています。こうしたアドバイスは企業の成長や重大な課題に対する新たな視点を与えるものとして、欠かせないものと理解されています。

「機会があれば、いつでもメンタリングを受けています」と、ファビオラ・モリーナ氏は言います。「ビジネスを立ち上げ拡大した人々からアドバイスを受けることは非常に重要です。成功への歩みを速め、先人が経験した同じミスを避けることができます」

5 プレッシャーから解放される方法を見つける

アスリート起業家は誰もが、企業を立ち上げ規模を拡大するにつれて課題に直面すると言います。そのような難局に当たって、彼女たちはどのようにしてモチベーションを保つのでしょうか？それはまず、仕事のプレッシャーから心を解放する方法を見つけることから始まります。

「あなたが完全に逃避できるよう、逃げ道のある人生はとても重要です」と、ジュリア・リヴァード氏は言います。「私にとってそれは子供たちです。家に帰ったら、私は起業家のスイッチを切ります。そうしなければ私は燃え尽きるだけでしょう」

「外に出て人と話し、ネットワークをつくりましょう。大きなチャンスがそこから生まれます」

マーリーン・ショーベリ氏は、16年にわたってハイレベルなサッカーをしてきた元プロ選手です。彼女はスウェーデン代表チームでプレーし、スウェーデンリーグとスウェーデンカップで優勝、UEFAチャンピオンズリーグで、準優勝を果たしました。プロサッカーから離れた後ショーベリ氏は、コンピュータサイエンスとエンジニアリングで彼女の経歴を生かし、レース情報を共有・フォローする体験に変化をもたらすアプリケーション企業、RaceONEを設立しました。

「私はスポーツやIT、新興企業が大好きです。起業家としての私は、この愛する三つの情熱をすべて兼ね備えています」と、ショーベリ氏は語ります。「サッカーを離れたとき、私は試合に勝利するという高揚感を体験することがもうなくなるのではと不安でした。しかし、今私は自分のビジネスをマネジメントするとき、同じようにアドレナリンが湧く経験をします。多くの課題がありますが、スポーツと同じように、それを乗り越え皆で集まって勝利を祝福するときが、本当に素晴らしいと思える瞬間です」



おわりに

女性起業家は、企業の立上げや規模拡大に対する困難な課題に直面し、その多くが成功の頂点には至っていません。

しかし、優れたスポーツ選手としての経歴を持つ女性は、自信、ひたむきさ、情熱、リーダーシップのスキル、そしてレジリエンスというアスリートとして培った特性を、ビジネスの世界で成功につなげています。

スポーツで彼女たちは苦痛、失望、そして手強い競争相手を乗り越え、究極のゴールを目指す次のプレーを見据えることを学びました。彼女たちは、経験とビジョンを持つ洞察力のあるコーチから、早く失敗を認めることを教えられ、チームの一員として効果的なコミュニケーションの方法を学び、チームメイトが自分の限界を超えられるよう元気づけてきました。

アスリートのように、女性起業家は一瞬の動きで大きな目標達成に近づくことができます。しかし、女性アスリート同士が競い合うスポーツの世界とは異なり、ビジネスの世界では、男性が支配するフィールドに足を踏み入れること、そして男性が自分たちで築いた土俵に上がることが求められます。これは、女性起業家は、男性ほどの資本や強い人脈といったリソースがほとんどないままスタートしなければならないことを意味します。そして、こうしたリソースを拡大できたロールモデルが周りにいなければ、彼女たちは事業拡大をあきらめてしまうかもしれません。私たちは、成功したアスリート起業家とその類いまれな特性について広く知られることで、偉大な企業を育てることに最後までまい進しようという多くの女性創業者の励みになればと願っています。

彼女たちが創業した企業が年間売上高100万米ドルを突破し、成功した女性創業者のコミュニティが広がれば、いつかは経営者になりたいと思っている女性アスリートや学生にとってのロールモデルとなることでしょう。

謝辞

このレポートに協力して頂いた以下の起業家の皆様に御礼申し上げます。

- ▶ ミッチェル・ブルック・マーシニアック(米国)、高性能寝具ブランドSHEEXの共同創業者であり元WNBAバスケットボール選手
- ▶ パトリナ・チャップマン(オーストラリア)、コーチングビジネスRugby High Performanceの創業者であり元オークランドラグビーの選手
- ▶ パシヤ・クック(米国)、コンサルタント会社Pasha Cook Associatesの創業者であり元大学バスケットボール選手
- ▶ ローラ・ジェンタイル(米国)、espnWおよび女性のためのイニシアチブであるESPNのシニアバイス・プレジデントであり元大学ホッケー選手
- ▶ エリン・ゴア(米国)、自然健康会社Garden Societyの創業者であり元大学バスケットボール選手
- ▶ ケイティ・ワーナー・ジョンソン(米国)、アクティブウェアブランドCarbon 38の創業者であり元プロバレエダンサー
- ▶ リサ・ラックス(米国)、Lookalike Productionsの共同創業者であり元大学ラクロス選手
- ▶ アンジェラルイス(米国)、Global Athlete Media Networkの代表であり元プロバスケットボール選手
- ▶ ジェニファー・マット(米国)、Web2Print Expertsの創業者であり元大学バスケットボール選手
- ▶ エリカ・マクレイン(米国)、経験学習会社PATHworksの創業者であり元米国オリンピック陸上選手
- ▶ ローシン・マクゲッティガン(アイルランド)、Believe I Am トレーニングジャーナル・シリーズの共同制作者であり元オリンピック陸上選手
- ▶ メリー・マクベイ(米国)、Soccer Without Bordersの共同創設者兼エグゼクティブディレクターであり元プロサッカー選手
- ▶ ファビオラ・モリーナ(ブラジル)、ファビオラ・モリーナスイムウェアの創業者であり元オリンピック水泳選手
- ▶ ジェニー・リード(米国)、Positively Rugbyの創業者兼CEOであり元サッカーおよび陸上選手
- ▶ ジュリア・リヴァード(カナダ)、教育ゲーム会社Squiggle Parkの共同創業者であり元カナダのオリンピックスプリントカヌー選手
- ▶ サマー・サンダース(米国)、Blackline Mediaの共同創業者であり元オリンピック水泳選手
- ▶ マーリーン・ショーベリ(スウェーデン)、レースアプリRaceONEのCEOであり元スウェーデン代表サッカー選手
- ▶ エカテリーナ・スクディナ(ロシア)、イベント会社PROyachtingの創業者であり元オリンピックセーリング選手、世界チャンピオン
- ▶ セゼン・スュクル・サル(トルコ)、コンシューマーエレクトロニクス会社Selekt Bilgisayarの創業者であり元プロバレーボールおよびトルコ代表スキー選手
- ▶ ナンシー・スターン・ウィンターズ(米国)、Lookalike Productionsの共同創業者であり元大学ラクロス選手
- ▶ ペトラ・ファン・シャイク(オランダ)、Compumatica Secure NetworksのCEOであり元オランダ代表カヌー選手
- ▶ ルイーズ・ワッツ(オーストラリア)、High Performance Coachingの創業者であり元プロバレエダンサー

お問い合わせ

佐々木 ジャネル Janelle Sasaki

EY Japan
ディレクター

ジェンダー ブランド、マーケティング アンド コミュニケーション部
女性アスリートビジネスネットワーク(WABN) 日本エリア代表
janelle.sasaki@jp.ey.com

www.eyjapan.jp/japanwomenathletes/

EY | Assurance | Tax | Transactions | Advisory

EYについて

EYは、アシュアランス、税務、トランザクションおよびアドバイザリーなどの分野における世界的なリーダーです。私たちの深い洞察と高品質なサービスは、世界中の資本市場や経済活動に信頼をもたらします。私たちはさまざまなステークホルダーの期待に応えるチームを率いるリーダーを生み出していきます。そうすることで、構成員、クライアント、そして地域社会のために、より良い社会の構築に貢献します。

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバルネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。詳しくは、ey.com をご覧ください。

EY Japanについて

EY Japanは、EYの日本におけるメンバーファームの総称です。EY新日本有限責任監査法人、EY税理士法人、EYトランザクション・アドバイザリー・サービス株式会社、EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング株式会社などから構成されており、各メンバーファームは法的に独立した法人です。詳しくはwww.eyjapan.jp をご覧ください。

© 2018 EY Japan. All Rights Reserved.

ED None

本書は、一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されており、会計、税務及びその他の専門的なアドバイスをを行うものではありません。EY新日本有限責任監査法人及び他のEYメンバーファームは、皆様が本書を利用したことにより被ったいかなる損害についても、一切の責任を負いません。具体的なアドバイスが必要な場合は、個別に専門家にご相談ください。

本書は*Why female athletes make winning entrepreneurs*を翻訳したものです。英語版と本書の内容が異なる場合は、英語版が優先するものとします。